

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度第 3 回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

① 質問内容の整理と確認（公開）

② ヒアリングの有無（公開）

3 開催日時

平成 28 年 6 月 21 日（火）午後 6 時 30 分から午後 9 時 30 分まで

4 開催場所

上越文化会館 中会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：安樂 大、今井 孝、太田一巳、大竹明德（副会長）、加藤幸吉、金子隆一
佐藤美奈子、渋谷 俊（副会長）、田沢 浩、田中幸晴、谷 健一、新野武宣
野澤武憲、橋本桂子、藤田晴子、星野剛、松田光代、吉田幸造（会長）
吉田実、鷺澤和省

・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長
自治・地域振興課 小林主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長に議長を委任

【吉田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：太田委員に依頼
次第「2議題（1）地域活動支援事業について」に入る。事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料に基づき説明

【吉田会長】

提案事項の「春-1」から1つずつ確認していく。事務局の方で1つの質問に対して最長で5分、残り1分でベルが鳴らすので、ご協力をお願いします。質問が時間内で終わったものは、次に進むこととする。

今日の会議内容の主な内容として、資料No.1にあるように事業提案者に対する質問内容を確立させることが目的である。質問事項の中で、削れる事項、集約して整理できるかどうかを検討していただく。また、事務局からの回答でも、質問に対する回答を満たしていない場合に、提案者に質問を回すこととなるので合わせて審議願いたい。

次に、質問を通じてさらにヒアリングが必要かどうかを審議していただく。

では「春-1」に入る。委員に意見を求める。

【吉田実委員】

資料No.1の2ページ目の一番上の支出に関する質問があるが、全体的な支出は66万円かもしれないが、補助された支出は30万円で、今年度も30万円の補助希望なので、この質問はしなくてもよいと思う。

【鷲澤委員】

提案団体が昨年と同様の活動を行って、昨年も今年度も30万円だ。昨年と同様の活動ならば、どういう理由で半分になったのか知りたい。

【吉田会長】

採決を取る。

（半数以上が提案者へ質問する方に挙手）

挙手の結果、この質問は残すことに決した。これで「春-1」は終了する。

「春-2」に入る。委員に意見を求める。

【大竹副会長】

2ページ目の上から4番目の質問だが、事業内容の質問に直接関係ないと思うが如何か。

【橋本委員】

補助金の額に直接関係ないが、審査の際に、事業に対しての責任等を提案者に確認するためだと思う。こういうものも大切だと思うので、質問してもよいと思う。

【田沢委員】

審査の視点に参加性があるが、幼児に参加させるという主旨で考えるのであれば、そういった配慮も必要ではないかと思う。質問はその観点であればよいと思う。

【吉田会長】

採決を取る。

(質問不要に6人の挙手)

この質問は必要ということに決する。

【金子委員】

同じページの下から3番目で「精神面以外で具体的な数値」とあるが、どのように数値で表すのか分かりかねるので、このカッコ書きの部分は要らないと思う。

【今井委員】

この質問は、私がしたものだ。全体の中に類似した質問があるが、全部私だ。励みになるとか、モチベーションになるとか、効果が期待できるという表現が全体的に多く、「向上が認められた」とあるが、補助金として税金を出すには説得力がなかった。客観的な数字があれば、なるほどということが分かる。敢えて「精神面以外で」とい入れたのはその理由であり、お含み置きいただきたい。

【金子委員】

何か所か数値化という質問があるが、どのように数値化するのか理解できないので、教えていただきたい。

【今井委員】

人からお金をもらうには、市民団体でも何でも根拠は自分が用意しなければいけない。どのように数値化するかは団体に聞きたい。その団体から同じように返ってきた場合に「それを考えるのは、あなたたち団体がやるべきことではないか」と言いたい。そこまで答えを求めることができないのであれば、そこまで真剣に自分たちのことを考えていないのではないかと思う。

【橋本委員】

前年度から人数がどの程度増えたかというような数字の質問なり具体的なら分かるが、このまま協議会から質問を投げかけられても提案者は戸惑われると思う。きちん

と誤解のないように質問するのも協議会の信頼と責任だと思う。具体的な数字を入れるのであれば「例えば」等を付け加えて質問する方がよいと思うので、私は削除してもよいと思う。

【星野委員】

できれば修正していただきたい。効果的な数値的な判断ができるならば、していただく、無理なら回答しないでよいというように、提案者の判断に任せられたらよいと思う。数値を出せないなら出せないなりに我々が判断すればよいと思うがどうか。

【今井委員】

分かった。最終的な判断はこちらですものなので、今の訂正内容で進めていただければよい。

【吉田会長】

では、採決を取る。採決は3通りになる。

【加藤委員】

会長が冒頭で説明されたが、今回は質問案を協議会として質問するか・しないかの2通りにするというので、新たな質問はなしということだったはずだ。ということは修正もなしだ。きりが無い。

【今井委員】

それであれば、時間が掛かるので個々に確認せずに、一括で意見があるかどうか聞いて、無ければそのまま通せばよいと思う。

【吉田実委員】

せっかく集まって協議しているので、若干の修正はオッケーにしていきたい。若干の修正も可とするかどうかの採決を採った方がよいのではないかと。

【吉田会長】

多少の変更であればよいという意見が出たが、どうか。

(「賛成」の声)

それでは多少の変更は認めるということに決した。

「春-2」はこのままでよいか、なしにするか、修正して質問するか3択で採決をとる。

(修正して質問が多数)

【吉田会長】

「春-2」については修正して質問するということに決した。

【今井委員】

私の書いた質問なので確認するが、「具体的な数値が出せるなら、出していただけますか」という修正案に私も賛成したのでよいと思う。他の似たような質問も同じように、事務局で直してよいと思っている。

【吉田会長】

「春-3」に入る。委員に意見を求める。

【金子委員】

1番上は間違えているのではないかと思うが、「春-1」「春-3」「春-7」になっているが、「春-14」だと思う。

【橋本委員】

「春-3」については7つの質問があるが、事務局で似た質問をまとめて2つの修正案に絞ってあるのでこれを採決すればよいと思うのだがどうか。

【吉田会長】

「春-3」は修正案の質問でよいか。

(「はい」の声)

「春-4」に入る。委員に意見を求める。

【今井委員】

3ページ目の下から2番目は私の質問なので、先程と同様に訂正願う。

【吉田会長】

他に意見はないため、次に進んでよいか。

(「はい」の声)

「春-5」に入る。委員に意見を求める。

【今井委員】

5ページ目の上から2番目の質問も、先程と同様に数値等という言葉は足してもらってもよい。

【橋本委員】

受け止める立場になって考えてみると、「根拠」というと強い感じがするので、「具体的に聞かせていただけますか」等の言い方に変更した方がよいと思う。

【今井委員】

確かに「この事業によって評価される声などが集まっていたら教えてください」と言うように、質問自体を分かりやすくした方が書き易いかと思った。提案者は自分たちを良く書こうとしているのか分からないが、事業の正当性を書かれると、それは本当なのか、誰がそう言っているのかをつい聞きたくなってしまう。先程のとはニュアンスも違い、削除でもよいと思うので、皆様のご意見を伺って採決を取ってみたい。

【金子委員】

春日山城跡は、新聞や報道等でも採り上げられているし、誰もが整備に望みを持っていると思うので、削除してもよいと思う。

【今井委員】

今みたいに、皆が望んでいるみたいに言われると、自分が望んでいない場合に「違う」と言いたくなるが、これは削ってよいと思う。

【田沢委員】

私はあってもよいと思う。この質問を受けたときに、この会がどのように回答するかが、協議会にとっては大切だと思う。その中で、「公益性」にて広く地域に還元されているのかなどについて、出てきた回答により審査するのが協議会だと思う。

【橋本委員】

地域協議会委員が初めての方が多くおられるので補足説明する。松葉カキ事業は継続して取組まれていて有意義な活動だ。中学生も楽しみにしているということも実際聞いている。この事業に初めて触れられた方はご存知ないことも分かるので、質問してみたいということであれば、事務局で初めての委員がいるのでと添えていただければ、誤解なく質問が受け止められると思う。

【鷲澤委員】

今井委員の質問の答えは基本的に決まっていると思う。市の観光行政でも市議会でも春日山城跡を重要視している。協議会の目的の中でも、私たち市の宝として頑張っ
て観光を活性化し、大切な資源を守っていくというようなことになると思う。

【金子委員】

5ページの上から3番目の質問だが、この事業は全て外注ではなく、中学生も一緒にやっている。これを質問された提案者は気分を害すると思う。

【今井委員】

この質問も私で、数年前に他所から来てアパート暮らしなので、事情が分からない中で書いている部分もある。不適切であれば、事実を誤認しているということで削除していただいてもよい。ただ、人夫賃や機械を使わずに、もう少し費用を減らせるかという意味も含めていたと思う。

【吉田実委員】

この業者の人夫賃は、子どもたちに集めさせた松葉をダンプに積み込み作業するための廃棄処分するための費用だ。

【吉田会長】

これは小学生や中学生が主に参加してやっている事業だ。事業提案書の「事業の目的」に、小学生や中学生と協働作業すると記載されているので、読んでもらえば業者だけではないことがわかる。

では、この質問は「全ての行程を外注委託にせず」という部分を削除することとしてよいか。

(「はい」の声)

また、上から2番目の質問の採決をとる。

(半数以上が削除の挙手)

それでは、この質問は削除とすることに決した。

「春-6」に入る。委員に意見を求める。

【金子委員】

1番上の「春-1」「春-3」「春-8」の項目を一本化できないかという質問だが、「春-8」は誤植ではないか。

【橋本委員】

この質問は「不適」になっているので検討の必要はない。

【吉田実委員】

これは誤植ではなく、質問者の勘違いだと思うので削除でよいのではないか。

【橋本委員】

会議の進め方として、「不適」の項目に関して議論するかしないかを、きちんと決めた方がよいと思うがどうか。

【田沢委員】

委員が挙げた質問を事務局案として質問するには不適切と位置付けられている。委

員の思いは残さなければいけないし、言いたいことがあれば言って、皆さんに決を取ったらどうか。

【吉田会長】

今の意見に対して意見を求める。

【鷺澤委員】

事務局案であって、最終的には委員で決めるということなので、全体で協議して質問事項として採決した方がよいと思う。

【吉田会長】

質問はいくらでも受け付けるが、簡潔明瞭にお願いしたい。また、過去の議論に遡ることは止めてもらいたい。

【今井委員】

誤植なのか、質問者の勘違いなのかの問題を解決した方がよい。本日は全員出席している。この質問書いた本人がいるはずなので、勘違いだったので削除でよいとか、載せて欲しいと発言してくれればよい。

【大竹副会長】

とりあえず採決を採ればよいのではないか。

【吉田会長】

採決を取ったらどうかと意見が出たが、よいか。

(「はい」の声)

それでは「春-6」の1番上の質問は削除してよいか。

(半数以上の挙手)

それでは削除とすることに決した。

他にあるか。

【橋本委員】

5ページ目の下から2番目の質問は、質問として適当ではないと思う。「生きがい」は人それぞれだし、生きがいづくりを目的として活動している会なので、質問としては適当ではないと思うので、削除したらどうか。

【吉田会長】

今の意見についてどうか。

この質問を削除するか採決を取る。

(半数以上が削除に挙手)

削除することに決した。後は事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-7」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-8」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

【谷委員】

「春-8」の1番下の質問で「春日地区全体の取り組みとして発展させる考えはあるか」ということだが、この団体には答えにくい問いで削除してもよいと思う。

【大竹副会長】

昨年度も、これに類した提案があった。他の町内では花の苗を購入したくても、補助金の申請下限額が5万円以上になっているため、申請できない町内会もある。そういう意味も含めて他の町内の分もまとめて買ったかどうかという意味ではないかと思う。

【鷺澤委員】

この質問は私だ。大竹副会長の仰ったような話も聞いている。また、春日区全体の環境整備という点から経費削減で花壇の苗くらい共通でできるものは、地区全体でやればよいのではないかという考えで質問した。

【星野委員】

会議の始めに、提案や質問の補足説明はなしというルールを聞いた。削除した方がよいという意見が出たらすぐに採決を取った方がよいと思う。

【吉田会長】

それでは採決を取る。

(削除に挙手は少数)

このまま残すこととする。

「春-9」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-10」に入る。委員に意見を求める。

【橋本委員】

8ページの下から4番目の質問だが、質問の文言を変えたらどうか。もしくは削除でもよいと思う。

【今井委員】

これは私の質問だと思うが、これまで防犯パトロールを目にしたことがなかった。物品購入の提案が多いので、専用の帽子がなければ出来ないのかを伺いたかった。言い回しは変えていただいてよい。

【金子委員】

帽子はなくてもできるが、防犯の抑止に繋がる。パトロールは目立つ服装でやった方がよいので、帽子はあった方がよい。

【太田委員】

今の金子委員の話は、まさに回答になるのでちょっと違うと思う。

【今井委員】

質問の背景を話さないことになっているので、しっかりとルールを守るべきだと思う。

【吉田会長】

春日山町3丁目の町内では隔週の朝7時頃からやっているの、たまに見られたらよいと思う。

【加藤委員】

今井委員は質問したいのだから、そのまま出せばよい。

【橋本委員】

協議会として出すのだから、このまま出すのはよくない。

【新野委員】

この資料の中にも帽子について触れていたが、一貫性を持った答申や採択をした方がよいと思う。皆さんの意見を聞きたい。

【吉田実委員】

過去の協議会では防犯パトロールの帽子は採択していない。質問をするかしないか、採択等も新しい委員さんになったので、自分たちの判断基準でしてほしい。

【加藤委員】

高志地区では、帽子は採択していただいた。

【吉田実委員】

それなら少ない数だったのだろう。

【新野委員】

少ないからよいとか、多いから駄目ではなく、取扱いを統一した方がよいと思う。

【橋本委員】

審査は各委員の判断で行うので、一貫性というのはいらないと思う。

【太田委員】

事務局の方でまとめた案の言い回しでよいのか、または変えたほうがよいのか、削除するののかの3案で採決を採ればよい。また、審査の話はこの場で話す内容ではないと思う。

【今井委員】

それなら橋本委員の言い回しを変える方に合わせるので、削除かの2択でお願いします。

【吉田会長】

採決を採る。

(過半数が言い回しを変えて質問するに挙手)

【鷲澤委員】

今までは、文言を修正する場合は、事務局に一任してきたので、それでよいのではないか。

【吉田会長】

文言の修正は事務局に一任するというのでよいか。

(「はい」の声)

「春-11」に入る。委員に意見を求めたが、無いので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-12」に入る。委員に意見を求める。

【野澤委員】

10ページの上から2番目と3番目の質問だが、道路管理者への許可案件ではないため、削除した方がよいと思う。

【星野委員】

修正案を提案する。「道路管理者（県道は県、市道は市）がやるべきことを、なぜ地域活動として実施するのですか。」でよいと思うが如何か。

(「意義なし」の声)

【吉田会長】

それでは星野委員の修正案とする。

「春-13」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-14」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-15」に入る。委員に意見を求める。

【星野委員】

事務局に質問だ。事務局の回答内容で1番上と上から2番目の回答は矛盾していると思うが、どうか。

【野口係長】

上の方の回答は、中門前町内会の中には3つの町内があり、その中の1町内で組織を立ち上げて提案された。次の補助金は市で行っている「自主防災組織の資機材整備補助金」があるが、それについては町内会単位で一律30万円を上限として交付されている。その補助金は、大きいくくりの中門前町内会に対して既に支給されている。

今回、自主防災組織の資機材整備費補助金では足りないということで、中門前1丁目が組織を立ち上げ、活動支援事業を利用して助成を希望することは可能なので、提案は受けられる。

【星野委員】

市の違う部署からの補助金があるが、30万円しか出ない場合に、足りない場合は地域活動支援事業で使ってよいということで理解した。

【山田センター長】

そうではない。補助金の二重補助というのは認められない。前の説明のとおり、中門前町内会と中門前1丁目の組織は別であるため、二重には当たらない。

中門前町内会の話は、過去に防災所管課の補助金を使って防災備品を購入したが、中門前2丁目の会館に置いてある。1丁目から2丁目の会館に取りに行くには、場所も離れているし、起伏の多い地形で、実際に災害があった場合に即時対応をとることは難しいということだ。

昨年度に中門前3丁目で防災関係の提案で採択されているので、今回も同じような提案環境だということを事務局が確認して提案を受け付けた次第だ。

【吉田会長】

「春-15」は事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-16」に入る。委員に意見を求める。

【橋本委員】

15ページの上から1番目の事務局修正案で、「他人から与えられた」という表現を変えた方がよいと思う。

【吉田会長】

事務局の方で何かよい言い回しがあるか。

【野口係長】

代わりに「地域活動支援事業で調達された」で如何か。

【田沢委員】

団体が道具を管理するので、どのように管理するかということ文言にした方がよいと思う。

【野口係長】

これに係る言葉は「気持ちの醸成」を問うていると考えられる。他人から与えられたものを大事にするという気持ちの養い方で、備品の管理の仕方を問うているのではないと思うのだが、質問された委員さんによる意図を教えてください。

【今井委員】

物品を無償で貰ったのではないから、感謝して大事にして使えるか、ということを知りたいのだと思うのだが、これを“管理”にすると意味合いが変わってしまうと思う。「税金だから大切に使って欲しい」とも書けないので、言い回しが難しいが、「他人」というものを「補助金による」に変えたりして上手く伝えればよいのではないか。

【吉田会長】

修正するかしないか決を採る。

(修正するに過半数)

どのように修正するかは、事務局に任せることとするがよいか。

(「はい」の声)

「春-17」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-18」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-19」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

【橋本委員】

19ページの上から3番目。「参加者が毎回同じ顔ぶれにならないように」と書いてあるが、「広く募集して新しい人も仲間に引き込むような工夫はされるか」という言い回しに変えた方がよいと思う。

【今井委員】

質問の意図は十分伝わるのでこのままでよいと思う。

【吉田会長】

このままでよいという方は挙手願う。

(過半数挙手)

このままでいくこととする。他に意見求めたが、無いので次に移る。

「春-20」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-21」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

(「はい」の声)

「春-22」に入る。委員に意見を求めたが、無かったので事務局案でよいか。

【田沢委員】

22ページの1番下の質問の事務局案の「地域住民の参加型イベントにより賑わいを創出するのではなく」という部分を削除した方がよいと思う。

【今井委員】

これは私の質問だが、今の意見でよいと思う。

【吉田会長】

前文を削除するということでよいか。

(「はい」の声)

【橋本委員】

22ページの下から5段目は、誤植があるので事務局に訂正願う。

【野口係長】

誤植であるため訂正する。

【吉田会長】

「春-1」から「春-22」まで全て終了した。

次第「②ヒアリングの有無について」に入る。ヒアリングは出来るだけ行わないという前提で進めてきたが、ヒアリングは必要か。

【鷺澤委員】

ヒアリングは重要で、皆で聞くことが大切だと思う。

【吉田会長】

では、採決を採りたい。ヒアリングが不要だと言う方は挙手を願う。

(過半数が挙手)

ヒアリングは行わないことに決した。

次第「3 その他」について、事務局に説明を求める。

【野口係長】

・今後のスケジュールについて説明

【吉田会長】

今ほどの説明で、ヒアリングを行わないため、最速で7月20日に協議会を開催し、採択ができるとあったが、委員の都合はどうか。

集計作業はいつまでか。

【野口係長】

集計作業は12日から19日を予定している。

【加藤委員】

減額などの決定はどこでやるのか。

【野口係長】

20日以降の協議会で行う。

【太田委員】

採択が早い方が、提案者に早く結果が届くのか。

【野口係長】

早い決定の方が、提案者にも結果を早くお知らせできるため、開催日の前倒しをお勧めしたい。

【鷺澤委員】

今年度はQ&Aの送付から採点までの間に協議会は行わないのか。

【山田センター長】

去年はヒアリングを行ったためそのように進めている。ヒアリングを行った後に、

文書回答を見ながら委員の意見交換を行った。今回はヒアリングがないので、直ぐに採点を行っていただくことになる。皆さんの判断で、それが望ましくないということであれば、採択の前に協議会を開き、意見交換をした方がよいかどうかを諮っていたきたい。

【吉田会長】

採択の前に協議会を開いた方がよいという委員は挙手を願う。

(8人挙手)

過半数に達しなかったので、会議は開かないということに決した。

本日の議題は全て終了した。次回会議を決める。

— 日程調整 —

調整の結果、20日以降で調整がつかなかったため、当初第5回目の協議会を予定していた27日で行うこととする。また、ヒアリングを行うために予定していた14日の協議会を行わないこととする。

【吉田会長】

・次回の協議会：7月27日（水）午後6時から 上越文化会館

【吉田実委員】

減額採択のやり方を事前に説明していただいた方がよいと思う。

【吉田会長】

事務局に説明を求める。

【野口係長】

・減額採択について説明

【吉田会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線 1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。